

作業時間短縮に一役

CAT320

片桐機械が
導入 吉本組の現場で活躍

【小樽】片桐機械（本社・札幌）が導入したキヤタピラー製の新型油圧ショベル「CAT320」が、吉本組（本社・岩内）で施工を進める岩内港の土砂搬出作業で初めて稼働した。同機に搭載のペイロード機能が、バケット内の重量とトラックの積載量を表示。過積載防止と作業時間の大幅な短縮につながった。

「小樽」片桐機械（本社・札幌）が導入したキヤタピラー製の新型油圧ショベル「CAT320」が、吉本組（本社・岩内）で施工を進める岩内港の土砂搬出作業で初めて稼働した。同機に搭載のペイロード機能が、バケット内の重量とトラックの積載量を表示。過積載防止と作業時間の大幅な短縮につながった。

まで積み込み後に行つていた軽量作業が省かれる。さらにTip-offモードで最終積み込み時の目標積載量に大きな誤差なく最適化される。整地やすき取り、法面整形の際、直線的な施工面であればマシンガイダンス

過積載防止や安全対策が強化されたCAT320



2Dベークシック機能により、バケットを基準点に合わせ、モニターで目標とする深さと角度を入力するだけで、画面と音声のガイダンスが流れる。やり直し作業は軽減され、経験が少ないオペレ

ーターも作業でき、品質が安定するという。

安全面では、360度のビューカメラを搭載し、稼働範囲の境界を設定することで、油圧ショベルの動作を自動停止するE-フェンスも実装している。

現場は小樽開建発注の寿都漁港ほか1北防波堤建設。28日の作業ではトラックへの土砂積み込みがスムーズに行われ、荷台の土ならしもすぐに終わった。

立ち会った吉本組の及川敏博所長は「これまでの作業は3日間必要だったが、この機械なら2日間で終わる」と、時間の短縮効果を実感していた。